

# TEST DE LECTURE EN JAPONAIS

## 読み方のテストー新しく来た子供たち

1. それぞれの短い（みじかい）お話をよく読んで、その絵（え）をかきなさい。

a) 緑（みどり）のスボンをはいて、青い（あおい）コートを着て（きて）、黄色い（きいろい）のクツをはいたひとりの男（おとこ）の子の絵をかきなさい。その男の子（かれ）は、赤い（あかい）ボールでサッカーをしています。

b) 4つの黄色い目（め）、3つの青い口（くち）、6つの緑のとがった耳（みみ）、そして大きな（おおきな）赤い鼻（はな）をした怪獣（かいじゅう）の絵をかきなさい。その怪獣（かれ）は、4本（ほん）の毛（け）むくじゃらの腕（うで）なのに、たった1本（ぽん）の足（あし）をもっている。かれは本当（ほんとう）におそろしいです。

c) 青い自動車（じどうしゃ）を一台（だい）かきなさい。その青い自動車の前（まえ）には一台の赤い自転車（じてんしゃ）があります。その青い自動車の後ろ（うしろ）には、一台の黄色いトラックがあります。

Protocole d'accueil d'un élève nouvellement arrivé  
CRAVIE

Tests de lecture et de compréhension en langue d'origine  
A l'initiative de Thomas Stenger et Charlotte Ponsar

2. つぎの文（ぶん）をよくよみなさい。

お天気（てんき）の良い5月のある朝（あさ）、二匹（ひき）のカタツムリが、競争（きょうそう）をすることにしました。「サラダ菜（な）のところまでいってもどってこよう」と灰色（はいいろ）のカタツムリのエクトールがいい、「わかった」と白（しろ）いカタツムリのネストールがこたえました。「いこう」その二匹の友（とも）だちはゆっくりとかけだします。何時間（なんじかん）かたって、夜（よる）になります。だれが競争にかったでしょうか？ 誰（だれ）もかってません。かれらは二匹ともサラダ菜の中（なか）でねむってしまっていたのです！

つぎの質問（しつもん）をよんで、それぞれ正しい（ただしい）答え（こたえ）を○でかこみなさい。

- a) ネストールは何色（なにいろ）ですか？
- 1- 茶色（ちゃいろ）
  - 2- 灰色（はいいろ）
  - 3- 白（しろ）
  - 4- 緑（みどり）
  - 5- わかりません
- b) 二匹のカタツムリは何（なに）をしたいのですか？
- 1- サラダ菜をたべたい
  - 2- 自分（じぶん）の身体（からだ）をあらいたい、
  - 3- 競争（きょうそう）したい
  - 4- 友（とも）だちにあいいたい、
  - 5- わかりません
- c) 誰（だれ）が競争にかちましたか？
- 1- ネストール
  - 2- エクトール
  - 3- 二匹のどちらでもない
  - 4- 二匹ともかった
  - 5- わかりません
- d) このお話の題名（だいめい）をえらびなさい。
- 1- 一匹（ひき）の病気（びょうき）のカタツムリ
  - 2- 犬（いぬ）とカタツムリ
  - 3- カタツムリの競争（きょうそう）
  - 4- 魔法（まほう）のサラダ菜
  - 5- わかりません

Protocole d'accueil d'un élève nouvellement arrivé  
CRAVIE

Tests de lecture et de compréhension en langue d'origine  
A l'initiative de Thomas Stenger et Charlotte Ponsar

Protocole d'accueil d'un élève nouvellement arrivé  
CRAVIE  
Tests de lecture et de compréhension en langue d'origine  
A l'initiative de Thomas Stenger et Charlotte Ponsar

3. つぎの文（ぶん）をよくよみなさい。

そのこのうまれた日（ひ）は、その親（おや）の一生（いっしょう）のなかで、一番（いちばん）しあわせな日でした。

「彼女（かのじょ）は完（かん）ぺきだわ」とお母（かあ）さんがいい、「本当（ほんとう）にそのとおり」とお父（とう）さんがいいです。そして彼女はそのとおりでした。彼女は本当に完（かん）ぺきでした。

「この子の名前（なまえ）は彼女らしいものでなければならぬわ」とお母さんがいい、「この子の名前は本当に完（かん）ぺきであるべきだ」とお父さんがいいです。そしてそれはそのとおりでした。

菊。（きく）

その親は彼女を、菊と名（な）づけました。

菊は、大きく、大きく、大きくなりました。

そして彼女が自分（じぶん）の名前（なまえ）がよい名前だとわかる年（とし）になったとき、菊はその名前が大好きになりました。

彼女は、お母さんが自分を起こすとき、その名前を聞くのが好（す）きでした。

彼女は、お父さんが自分を夕食（ゆうしょく）によぶとき、その名前を聞くのが好きでした。

そして彼女は、お風呂場（ふろば）の鏡（かがみ）の前（まえ）で自分の名前をつぶやくとき、その名前を聞くのが好きでした。

菊、菊、菊。

菊は、封筒（ふうとう）の上（うえ）にインクでかかれたその名前を見（み）るのが好きでした。

彼女は、誕生日（たんじょうび）のケーキの（うえ）にお砂糖（さとう）でかかれたその名前を見るのが好きでした。

菊、菊、菊。菊は、自分の名前が本当に完（かん）ぺきだということがわかりました。

そして彼女は、学校（がっこう）に行きはじめました。

つぎの質問（しつもん）をよんで、正しいこたえ（一つかそれ以上）を○でかこみなさい。

a) この文章（ぶんしょう）には何人（なんにん）の人（ひと）が出てきますか？

- 1- ひとり
- 2- ふたり
- 3- 三人
- 4- 四人
- 5- 五人
- 6- わかりません

b) 菊の親の一生で一番しあわせな日は、どれでしょう？

- 1- 菊が学校（がっこう）に行った日
- 2- 彼女の誕生日
- 3- 彼女が生れた日
- 4- 彼女が結婚（けっこん）した日
- 5- 彼女が自分の名前をかけた日
- 6- わかりません

c) このお話で完ぺきなものが二つあります。それはどれでしょう？

- 1- お父さんとお母さん
- 2- 小さな女の子とそのお母さん
- 3- 小さな女の子とその名前
- 4- 生れた日と誕生日の日
- 5- わかりません

d) このお話で菊はつぎのものでかかれたとき、その名前を見るのが好きでした。それはどれでしょう？

- 1- エンピツ
- 2- フェルトペン
- 3- インク
- 4- お砂糖（さとう）
- 5- オレンジ色のエンピツ
- 6- わかりません

e) つぎの文のなかから、このお話のつづきとして一番いいものをえらびなさい。

- 1- 彼女は、よみかたを勉強（べんきょう）してとてもすばらしい生徒（せいと）になり、たくさんの友だちができました。
- 2- 彼女は、いなくなった犬（いぬ）を見つけ家（いえ）につれもどして、友だちにしました。
- 3- 始めの日々（ひび）は、自分の名前が原因（げんいん）で学校ではとても悩（なや）まされました。
- 4- 自分の名前がかけなくて悪（わる）い生徒でした。
- 5- わかりません。